



SHALOM-NETWORK

発行：NPO 法人シャローム事務局

〒960-1241 福島県福島市松川町字東原 17-3
TEL / FAX 024-567-5322

Web <http://www.nposhalom.net>
Email info@nposhalom.net

発行責任者：大竹静子

2018「ひまわり感謝祭」&「共に生きる仲間たちのコンサート」

多くの仲間と共に
盛会の幕は終幕!!

シャロームの一年間を総括するイベント「二〇一八ひまわり感謝祭&共に生きる仲間たちのコンサート」が、十二月八日（土）、福島市のAOZで開催されました。

「ひまわり感謝祭」は、震災の年から始まり、第八回を迎えました。今年も、ひまわりプロジェクト地域間交流事業として全国各地に派遣している「子どもひまわり大使」の派遣事業報告会を多目的ホールで行いました。全国の栽培協力者の栽培現場の様子が広い展示会場を埋め尽くし、栽培協力者数は三二二（二六七団体、個人五五）十二月二十五日現在、を数え、全国的な広がりを実感させるものとなりました。

子ども大使が訪れた九州・岡山は、訪問時期が災害直後と重なり、被災地訪問となっていました。報告会では、当時の現地での様子も報告され、受け入れ側として協力いただいた参加者からは被災地への支援の対応への速さを感じられる場面もあり、「ひまわりプロジェクト」が災害支援ネッ

トワークの側面を持つことが図らずも実証された形となりました。

ひまわり大使の持参した募金は九州・岡山に届けられ、山形を訪問した子ども大使の募金も年内には北海道に送られます。今年も全国的に災害の多い一年で、種の収穫にたどり着けなかった残念な状況を伝えるメッセージも多く寄せられました。十二月時点での収量が一・一トと昨年の一・三トを下回っているのも災害の影響によるものと考え、会場では栽培相談会も行いました。活発な意見が来年に繋がるものと期待したいと思います。

第二十二回「共に生きる仲間たちのコンサート」の第一部はゲストコンサート。こども大使が訪問し交流を深めた岡山からボーカルユニットのシルバートーンと岡山歌っ子ずずちゃんをお迎えしました。ひまわりプロジェクトのために書き下ろした「ひまわりの花束を」も披露されコンサート盛り上げてくれました。第二部の仲間たちのコンサートでは、阿部清美さん

の詩の朗読や高木弘さんのオリジナルソングによる合唱など、和やかな雰囲気にもまれ、また盛り上がる中で終わることができました。

広い会場では、県内外の市民活動団体やNPO活動の紹介展示、福祉作業所製品等の販売も行われ、ひまわり油「みんなの手」の紹介も行われました。

今年も無事盛会のうちに終了することができました。今年の成果と反省を糧に新たな年に向けたスタートとなります。皆さんにとって、来年がより充実した年となりますことを祈念し、今年一年間の参加協力に深く感謝申し上げます。

代表 大竹 静子



▲ひまわり大使交流報告会。子どもひまわり大使と受け入れ団体のみなさん。

愛のメモ帳

ひまわり感謝祭が終わると今年もカウントダウンが始まる。クリスマス、大晦日、そして平成の世は終わる。来年は新元号となる。平成は、昭和天皇の死去（崩御）により始まった。すでに三十年の月日が流れている。

三十年という月日は、一時代を作る。ゼロ歳の子も三十歳の働き盛りとなり、三十歳の青年は六十歳の還暦を迎える。今年生まれた孫はゼロ歳で平成最後の人となる。その親は三十代その親である私は六十代の後半を迎える。

世界は、さまざまな世代の人間が混在し、共存しながら、時間の経過の中で年を重ね「命」を繋いでいく。ひまわりプロジェクトの種に託された思いが人の一生に重なる。発芽から開花へ、花は実をつけ結実し枯れていく。一粒の一生は、多くの種を残し次世代に繋いでいく。すべての「命」の営みは、無数の「命」と関わり、今を引き継いでいく。今を生きて「命」は、子孫の繁栄を願い、次世代が良くなるための知恵を累積し未来に託していく。

(T・O)

ひまわりプロジェクト 2018

一年間のご報告と御礼

●一年間を振り返って

二〇一八年度の「ひまわりプロジェクト」は二月に栽培協力の申し込みをスタートさせて頂きました。皆様ご存知の通り、このプロジェクトは食用ひまわりの種【春りん蔵】を福島から福島県外の栽培協力者にお送りし、皆様に大変なご苦労をいただきながら栽培・収穫して頂きます。福島に返送して頂いた種は、とうみがけをし、福島県内の製油所での压榨絞りを工程を経てひまわり油「みんなの手」に仕上げます。その販売収益を障がいを持つ仲間たちの為・福島県内の子どもたちの為に使用させて頂くというプロジェクトです。

趣旨に御賛同頂き、本年度は個人・法人合わせて三十二件のお申込み頂き、約五十七kgの【春りん蔵】の種を全国各地に送らせて頂き、十二月十四日現在一三七kgが福島に戻ってきております。

今年度は、春から梅雨前の記録的猛暑で、「せっかくながら種をまた送ってほしい」という要望にお応えして再度送らせて頂く状況がございました。また、梅雨時期から続いた岐阜県、そして西日本の集中豪雨被害で被害を受けたひまわり栽培協力者の皆様に安否確認のお電話をさせて頂きました。

私達にできることはないかと、安否確認のお電話のつもりが「ひまわりは大丈夫！」「半分は水没して申し訳ない」など、ほとんどがひまわりに関するお話で栽培協力者の皆様の福島を支援する思いにあらためて感服させられる一年でした。その後の北海道での集中豪雨と大地震で安否確認のお電話入れをさせて頂いた際にも、「そこまで心配してくださるのね。ありがと」のメール等頂き、私どもが逆に勇気づけられる一年でもありました。

八月下旬より始まった台風被害では、栽培協力者の皆様からメール等で「ほとんどが水没して駄目になった。申し訳ない。来年頑張るから」と当法人に対する激励のお声を頂きました。本当に栽培協力者の皆様には感謝申し上げます。

ここで、一部でございませぬが種を送り返して頂いた際に同梱されていたお手紙を紹介させて頂きます。



「こんにちはー収穫できた種を送らせて頂きます。が、例年の四分の一位になってしまいました。折角いつもより多く種を送って頂いて、地元川西市の畑高原時、そして綾部市、黒谷和紙工芸の里、綾束こども園、いこい村などにも種をお預けして花を咲かせるところまでは何とできました。しかし酷暑で成長率もかなり少なく、その上水害・台風も重なり、がっかりの日々が続きました。本当に、自然・気候の厳しさを思い知らされました。来年はリベンジ？できるように基本に戻って地元中心で頑張ってみたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。」(兵庫県 K様)

「今回ひまわりを育てさせてもらったボランティア部です。ひまわりを育てる中でボランティア部が、夏休みや部活中でも育てていて、これがひまわりオイルになるんだなー思っていました。ひまわりオイルを作るにあたって、私たちのがんばりとひまわりプロジェクトの皆様を力をお借りして、いいひまわりオイルを作ってください。今回ありがとうございます。」(神奈川県 T様)

「今年度は雨がそんなに降らず枯れているヒマワリもありましたが、他のひまわりは日差しと台風で打ち勝ち成長しまして収穫をしたので、少し中が膨れにくい種もありましたが、早く成長したひまわりの種をヒマワリオイルにしまして、売ってください。いいヒマワリオイルになることを期待しています。よろしくお願いたします。」(神奈川県 W様)

「こんにちは。水やりをしばしば忘れたりなどして、あまりいいものとはいえませんが、是非いいものにしていただければと思います。台風の影響もありよく育ったとは言えません。ですがそれなりに一生懸命に育て収穫いたしました。数が少なく、色も悪く、あまりいいものとはいえませんが、お役に立てたら幸いです。よろしくお願いたします。」(神奈川県 I様)

「お世話になります。今回ひまわりプロジェクトに参加させて頂きました。遅くなりましたが、みんな育てて頂きました。今年度は、天候も悪くひまわりの生育状況が思わしくなく、種も小さいですが、どうぞお取めください。来年度も是非参加させていただきます。」(和歌山県 K様)

「九月になり残暑は残るものの、朝夕はようやく涼しくなりました。ひまわりプロジェクト事務局の皆様お元気でしうか。この夏、長崎でも猛暑日

が続く雨がほとんどなく、ひまわりにも受難の夏でした。お届けしたひまわりの種は、友人たちを名づけて育てたものです。一日五回お水を運び大切に育ててくれた、八十歳代のお母さんからも届けます。遠く九州の長崎から、皆様へのエールが届きますようお願いいたします。これからも大切な活動のために、たくさん仲間を輪を広げ、進めていって下さる事を心から願っております。皆様のご活躍をお祈りいたします。」(長崎県 W様)

「わざわざ福島まで種を届けに来てくださった個人・法人の栽培協力者の皆様もいらっしゃいました。写真は山形県南陽市立梨郷小学校の校長先生が持ってきてくださった種を、代表の大竹静子が受け取っている場面でございます。

最後に、一年間の激しい自然災害の中、ご協力とご尽力をくださった、本年度の栽培協力者の皆様に感謝いたします。そして皆様のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。(ひまわりプロジェクト 実行委員会 北島)

「残暑お見舞い申し上げます。今年度は天候不順にもかかわらず、友人が頑張ってくれたお陰で、まずまずの収穫となりました。今年もひまわりの種をお送りいただき誠にありがとうございます。」

「遅くなりましたが、今年度のひまわりの種をお送りします。私ではなく知人が畑で育ててくれます。昨年はカラスに、新一年に食べられたりでしたが、今年にはネットをかけてくださり、たくさん



また、わざわざ福島まで種を届けに来てくださった個人・法人の栽培協力者の皆様もいらっしゃいました。写真は山形県南陽市立梨郷小学校の校長先生が持ってきてくださった種を、代表の大竹静子が受け取っている場面でございます。



教養講座 地元学を考える

第百七十八回「地元学を考える」
(二〇一八年十月二十七日開催)

「日本酒は故郷の誇り
—福島市唯一の
造り酒屋を守りたい—」

講師 齋藤 美幸さん

「地元学を考える」金水晶の社長・齋藤美幸さんが講師を務めるというので早速出席の申し込みをした。

実は十五年前前に、福島法人会のお仕事で松川町にある金水晶酒造店を訪ねている。そのとき三代目社長つまり美幸さんの父上・齋藤正一氏にお会いし、酒蔵の中で案内して頂いた。お話をしている中で、娘さんが東京大学教養学部を卒業している才女だと聞いた。また四月からの「みんゆう随想」にお酒のエッセイを連載している。その欄に美幸さんの顔写真が載っている。その顔立ちが私の好みで、こういう頭が良く可愛い女性とお友達になれたらいいなあと思っていた。十月二十七日、シャロー

の金水晶と美幸さんを応援しているこうではないか。
(やまひろし)



やまひろし

第百七十九回「地元学を考える」
(二〇一八年十一月十七日開催)

「宇宙人と日本人」

講師 三神 たけるさん

酒造りの苦勞をはじめ純米酒、大吟醸の違い、その他の酒造りを細かく説明してもらった。福島の酒は六年連続で日本一に輝いているが、金水晶も金賞を始め数々の受賞をしている。美幸社長のお話は理路整然として解りやすい。時折アメリカの話、家族の話が挟まれて親しみやすく感じた。一番驚いたのは金水晶のラベルのデザイン。大抵の酒ビンのラベルは漢字で書いたものが多いが、金水晶は▲●●とあり度肝を抜かれた。こんなデザインはここだけであろう。中合といちいの酒売場に行ってみたら、金水晶はすぐ分かった。とにかく福島市ではただ一軒の酒造店。貴重な存在

今年も九回目の三上編集長の話を聞けることに感謝しながら会場に入りました。新聞の広告で講演を知って初参加してから一度だけ行けない年がありました。いつも大変興味深いテーマでワクワクしながら参加しています。今回は、「宇宙人と日本人」というタイトルでしたが、「UFO」という言葉から始まって「日本人のルーツ」まで、一見非科学的に思える話の中で、「実は日本人は

どこから来たのだろう」という日本人なら誰でも興味を覚える話で締めくくられていました。

私は今まで宇宙人もUFOも見たことはありません。また、「こんな事とも信じられない」という出来事に遭遇したこともありません。しかし世界では、目的は軍事的であったりするにせよ、UFOに真面目に取り組んでいるという話はとても気になりました。特に米国では、アメリカ国家安全保障局(NSA)という国家機密を取り扱う部局が管轄しているということ聞かされ、一段と宇宙人やUFOの話の信憑性が増してくるよう思えました。

今回も、UFOは宇宙人の乗り物でなく、乗っているのは地球人で日本人と関係の深い人種である、との俄かには信じ難い筋立てに驚かされました。回収した乗組員の死体の遺伝子を解析した結果、アジア人とりわけ日本人に近い人種ではないかとの説が出たとのことです。今日では、遺伝子内のY染色体(男性のみが持つ染色体)の分布状況の研究から、日本人はアジア人の中でも特異な存在であることが分かってきているそうです。地理的に近い韓国人や中国人とは一線を画しており、逆にユダヤ人の

教養講座 地元学を考える

第百八十一回予告

落語の世界と色即是空

〈講師〉 やま ひろしさん
(漫画家 うつくしま芸人会代表)
〈日時〉 2019年1月19日(土)
13:30~15:00
〈場所〉 まちなか夢工房 2階
〈参加費〉 500円

〈講演内容〉

世界三大宗教と言われるキリスト教、仏教、イスラム教には基本的教えがあります。なじみの仏教の基本原理は縁起と空と色即是空といわれます。反するかのように「落語の世界は、いろいろな欲(業)の肯定である」と言われます。アッハッハ・・・、ウッフと笑いの中に気持ちもリラックスさせてくれる落語の世界についての秘密をお聞きし、新年の初笑いをお楽しみください。

*参加人数把握の為、地元学講座各回ごとに欠席のご連絡をいただければ幸いです。(tel 024-524-2230 または fax 024-525-8285 までお願いいたします)



りですが、早くも来年のテーマに期待を膨らませています。(佐藤 浩徳)

第百七十八回の感想は、一月の講師でもいらつしやるやまひろしさんに、第百七十九回の感想は佐藤さんに寄稿していただきました。

活動のご報告

2018年10月21日～12月20日

- 10月21日 夢工房 「ケアフォーラム祭り」出店
(あづま脳神経外科)
- 10月22～25日 夢工房 15周年記念イベント開催
- 10月27日 第178回 地元学講座
「日本酒は故郷の誇り
—福島市唯一の造り酒屋を守りたい—」
講師 斎藤美幸さん
- 10月29日～ 憩 福島市立看護学校実習受入
11月1日
- 10月29日～ 夢工房 商工会議所職場体験受入
11月2日
- 11月2日 憩 ひまわり交流 岩手県訪問
- 11月5～16日 夢工房 大笹生看護学校実習受入
- 11月8～20日 憩 アンテナショップ販売 (いわき市)
- 11月9～10日 夢工房・憩 「東日本大震災・復興支援まつり」参加 (神奈川県)
- 11月9日 夢工房 まちの駅全国大会参加 (会津)
- 11月11日 UDセンター あづまるネット第4弾
開催 (飯館村)
- 11月15日 夢工房 二本松門前市 出店
- 11月17～18日 事務局 ひまわり交流 東京都訪問
- 11月17日 夢工房 ビーンズみんなの家セカンド
出店 (福島市)
- 第179回 地元学講座
「宇宙人と日本人」
講師 三神たけるさん
- 11月27日 夢工房 まちの駅駅長会議
- 11月30日～ 憩 福島市福祉作品展 参加
12月3日
- 12月8日 ひまわり感謝祭 開催
- 12月14～16日 夢工房・憩 福島銀行即売会 出店
(福島市)
- 12月15日 夢工房 二本松門前市 出店
- 第180回 地元学講座
「『巷のクリスマス』を共に」
講師 山田崇夫さん



活動予定

2018年12月21日～2019年1月20日

- 12月26日～ 楽 膳 GOOD DESIGN STORE TOKYO
- 1月22日 催事販売 (丸の内 KITTE)
- 12月29日～ 夢工房・憩 年末年始休業
1月6日
- 1月15日 夢工房 二本松門前市 出店
- 1月19日 第181回 地元学講座
「落語の世界と色即是空」
講師 ややまひろしさん

飯館村の再興をサポート

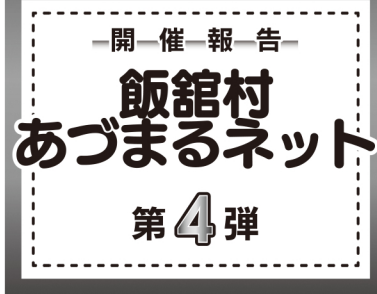
11月11日、これからの新しい飯館村のコミュニティ形成を目指すインターネット放送局の広報イベントとして、「飯館村あづまるネット第4弾」を飯館村交流センターふれ愛館にて行いました。

インターネット放送局は、避難指示解除後の新しい生活への不安を少しでも解消出来るような放送局を目指しており、インターネット上の仮想空間でのコミュニティ作りとなります。

第4弾となる今回も、ステージではカラオケや飯館村の未来を考える座談会などを行い、各フロアでは、ドットアートのワークショップや「ユーチューバーになろう!」というテーマでシネリテラシーのワークショップなども行いました。

こうして飯館村から地元の人たちが自ら情報発信を行うことは、とても重要で意義のあることです。避難指示解除後もまだまだ飯館村に帰村する村民は少なく、将来的な飯館村の行政にも大きく影響します。今回のように県内外に情報発信することで、元気な飯館村をアピールし、より多くの村民が帰村することになれば、村づくりを行うパワーも大きくなります。そこに人が住んでこそその飯館村であり、帰れない人へのメッセージを飯館村から発信することは、飯館村の再興に欠かせないものです。仮想空間でのコミュニティ作りも含め、これからも飯館村からの情報発信をシャロームとしてサポートして行きたいと考えております。

(UDセンター 佐藤)



▲あづまるネットカラオケ大会表彰式



▶シネリテラシーワークショップ「ユーチューバーになろう!」